

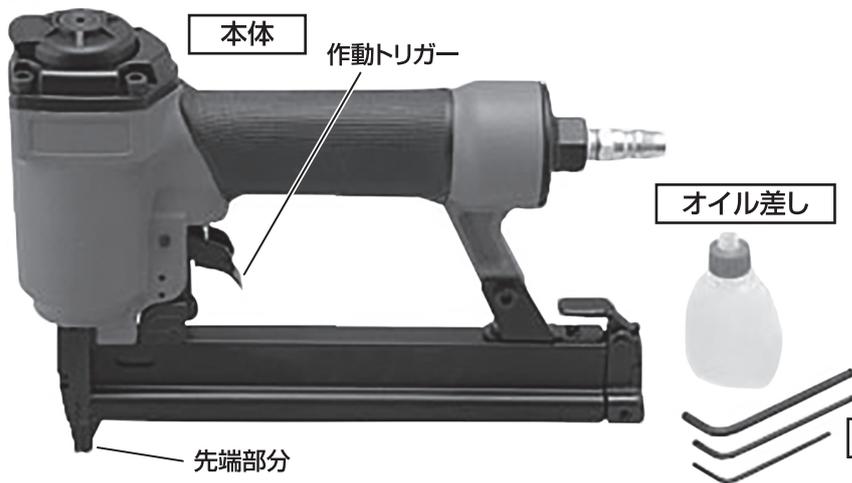
# 取扱説明書

## モタロウ エアータッカー

注文コード:66576186・08546563

このたびは、エアータッカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

### 1. 付属品



注文コード	66576186	08546563
付属品	レンチ2.5・3・4mm、 オイル差し	レンチ2.5・3・4mm、 オイル差し
使用空気圧力(Mpa)	0.39~0.68	0.39~0.68
ステーブル装填数	100	100
使用ステーブル(mm)	肩幅	4
	足長	10~25
空気接続口	1/4プラグ	1/4プラグ

### 2. 安全にお使いいただくために

- 危険** この表示内容を見逃して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。
- 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。
- 注意** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

### 3. ご使用方法

#### ■使用前の注意

##### □作動環境 **警告**

- 使用前に点検を行ってください。先端部分に損傷がないかを確認してください。
- 本製品は木材および木質様材料、中密度繊維板(MDF)、ホビー・クラフト、繊細な装飾、ビーズ細工、モールディング、さねはぎ、棚や合板の組立て、ガーデン用の家具やトリスに対する作業、扉・窓の組立て、硬材のフローリング、羽目板張り、装飾、額縁、鏡の枠、下張り床の床張りなどの作業のみに使用してください。
- 本製品の使用は、木材、木質様製品、革、そして紙材に限定されます。コンクリートや組積造のれんが、鋼にステーブルや釘を打込むのには適していません。釘が詰まったときは、ドライバーの刃を損傷することになるので、打たないでください。
- 適切な空気圧で使用してください。使用中は0.39~0.68MPaにすることをおすすめします。指定空気圧以上で使用すると、性能は上がりますが摩損が早まり、製品の破損・事故の原因になります。圧力計や減圧弁等を併用し、必ず適切な空気圧で使用してください。
- 動力源は、エアコンプレッサによる圧縮空気です。エアコンプレッサ以外の動力源を使用すると爆発の危険があります。
- 安全性、最高性能、部品の最大耐久性を維持するために、使用ホース径に記載してあるエアホースを使用してください。エアホースはゴミの混入に注意し、取付けてください。確実に取付けないと、エアホースが外れ、エア噴出によりエアホースが暴れる危険があります。

##### □作業環境 **警告**

- エアーツールの取付け・操作・点検修理、アタッチメントの取替え前、また、本製品の近くで作業するときは、本書をよく読み理解してください。
- 作業場所は整頓し、十分な日光が照明が当たるようにしてください。作業する台の上は何も置かないようにしてください。物があると事故を引き起こす可能性があります。
- 爆発の可能性があるエアーツールのエア供給に酸素や可燃性ガスを使用しないでください。火花で引火して火事や爆発を起こす危険性があります。
- 引火性液体、洗浄剤、流体エネルギー、保管ガスがあるなど、爆発の可能性がある環境では使用しないでください。

##### □作業時 **警告**

- 絶対に改造しないでください。改造は事故の原因になり、作業への危険性も大きくなります。
- 用途以外に使用しないでください。事故の原因になります。
- 取付けの部品を外さないでください。取外しての使用は、事故の原因になります。
- 適切な作業服を着用してください。可動部に手や布などを近づけないでください。
- 必要に応じて作業保護具（ヘルメット、耳栓、保護メガネ、マスク、手袋、安全靴）を着用して作業してください。作業位置が80dB(A)以上になる場合は、必ず耳栓を使用してください。
- ワークが飛び作業者が怪我するおそれがあるので、ワークが動かないように確実に固定してから作業してください。
- 作動トリガーが停止位置になっていることを確認してください。
- 先端部分が外れて飛んでしまいケガをするおそれや、故障の原因になりますので、無負荷で動作をさせないでください。
- 作業中は反動や跳ね返りに備え、しっかり持ち安全な姿勢を保ってください。
- 高所作業では作業中に落下することが絶対にないように注意してください。
- 電気絶縁性はありません。感電のおそれがある場合は、絶対に使用しないでください。
- 異常や危険を感じた場合は、ただちにエア供給を止め、使用を中止し点検や修理を行ってください。

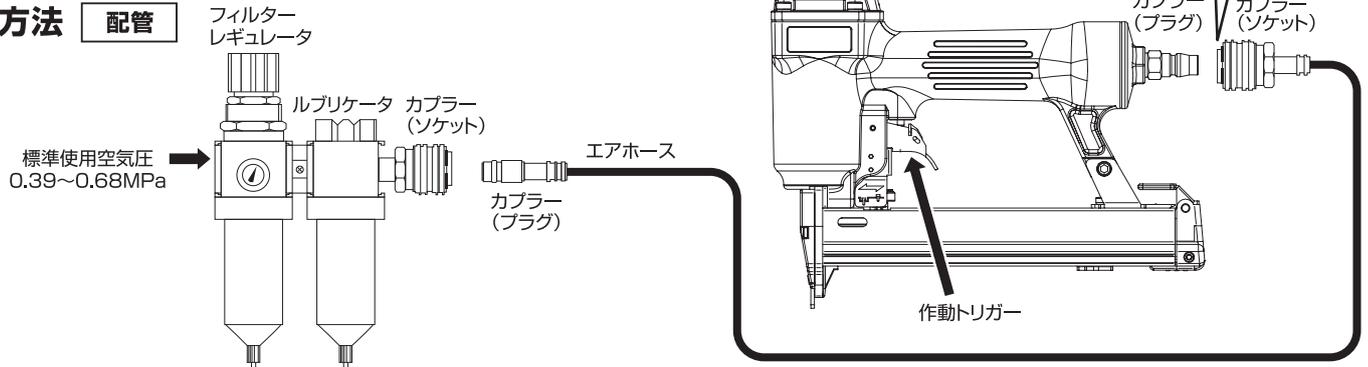
## ■使用方法の注意

### □作業時 ⚠注意

- 使用する前に、エア供給部が正しく接続されていることを確認してください。必ず接続部をソケットにはめ込んでからエアーツールを起動してください。
- 作業は十分注意をして行ってください。
- 使用中は目を離さないでください。
- 過負荷での無理な使用はエアーツールの破損や故障の原因になりますので、おやめください。
- 作業関係者以外は触らせないでください。
- 投げたり落としたりしないように注意してください。特に高所作業での落下には注意してください。
- 停電した時は、本製品を作業台におき、作動トリガーから指を離してください。
- 狭いスペースで作業しないでください。特に作業をしているときは、エアーツールとワークの間に手が挟まらないように注意してください。
- 長時間作業しないでください。また作業中、手、腕、肩、首など身体の一部に不快感や疲労を感じた場合は、姿勢を変えたり休憩してください。
- 切傷、火傷、振動によるケガを招くおそれがありますので、作業中にアタッチメントに触らないでください。
- 使用によって床がオイルで滑りやすくなったりエアラインや油圧ホースによるつまずきにご注意ください。
- 排気を人に向けてないでください。
- エアホースの跳ねにご注意ください
- エアホースの破損は事故の原因になりますので、丁寧に取扱ってください。

## ■使用方法

### 配管



### ⚠警告

- 使用空気圧は、0.68MPaを超えないようにしてください。
- 指定空気圧以上で使用する場合、性能が上がりますが摩損が早まり、製品の破損・事故の原因になります。
- 清浄な乾燥した圧縮空気を供給してください。エアホース内のほこり、腐食性の粉じんおよび水などは、製品の破損・事故の原因になります。
- 適時に潤滑油を給油してください。給油を行わないと、錆や摩耗により故障・事故の原因になります。清浄で潤滑されたエア供給を適正な圧力で行うために、エアフィルター、レギュレータ、ルブリケーター (FRL) は、上図のとおり使用してください。これらの装置の詳細は装置の製造業者にお問合せください。装置を使用しない時に注油するには、エア供給を停止し、エアーツールを押してエアを減圧した後、エアラインの接続を外して、吸気口に小さじ1杯 (5mL) の潤滑油を注ぎます。その際、防錆剤を混ぜると効果的です。
- しっかりと持ってください。その後、作動トリガーを押すと作動します。
- 作業終了時、エアコンプレッサーの空気圧をゼロにして、エアホースを外します。
- 長期間使用しない場合は、防じんキャップでホコリなどが入らないよう栓をしてください。

## ■締結部分の装填 ⚠警告

- 作動させることができる状態の本製品を自分自身や他の人に決して向けないでください。
- 1. エアホースを外してください。
- 2. マガジンのラッチを押し下げてください。マガジンのカバーを引いてください。
- 3. 棒状の締結部品をマガジンに挿入してください。必ず締結部品のとがっている端を下に向けて装填してください。また、締結部品に汚れや損傷がないことを確認してください。
- 4. ラッチが掛かるまで、マガジンのカバーを前方へ押し下げてください。

## ■操作方法

- 作業者はトリガーから指を離れた状態で、本製品の先端をワーク表面に当ててください。
- ワークによって接触安全トリップメカニズムが押されるので、トリガーを引いて締結部品を打ち出します。
- 締結部品が1つ打ち出されると、トリガーが解除されます。
- 本製品を次の場所に移動させ、上記の手順を繰り返します。

## ■工具から詰まりを取除く ⚠警告

- 調節、詰まりの除去、保守、移動を行う前、および作動させていないときは、本製品をエアコンプレッサーから切り離してください。

### 1. 締結部品排出部に締結部品が詰まっている場合

- 本製品からエアホースを外してください。
- ブライヤーで詰まっている締結部品をつかんで、取除いてください。

### 2. マガジン内で締結部品が詰まっている場合

- 本製品からエアホースを外してください。
- 詰まっている締結部品を取除いてください。
- ロックされるまで締結部品プッシャーを引っ張ってください。
- 締結部品プッシャーのロックを解除してください。

## ■工具のクリーニング ⚠危険

- 工具のクリーニングにガソリンやその他の可燃性液体を決して用いないでください。
- 工具内の蒸気が火花で発火し、工具の爆発を引起し、大変危険です。クリーニングが終わり、再び工具を作動させるまでは必ず完全に工具を乾燥させてください。

1. 本製品をエアホースから切り離してください。
2. 溶剤がシリンダー内に入らないようにしてください。

## ■給油方法 ⚠注意

- エアーツール本体の空気接続口よりオイルを2~3滴注入してから作動レバーを押してください。
- エアホースを接続して、約3~5秒間空運転をしてオイルをエアーツール内になじませてください。
- ※オイルを入れ過ぎると、排気口からオイルが噴出します。本体をタオルで覆い、人や物から離して作動させてください。
- ※圧縮空気中には、水分が含まれています。そのため、長時間使用せず放置すると、本体内部に錆が発生し作動できなくなる場合がありますので使用後は必ず給油を行ってください。
- 排気口に出てきた余分な油をふき取ってください。余分な油は工具のOリングを損傷します。
- 清浄油や添加剤は決して使用しないでください。

## ■保守・点検

- 使用しない時は、乾燥した場所で鍵をかけるか、子どもの手の届かない高い場所に保管してください。
- 使用しない時やアタッチメントの交換、エアーツールの修理を行う際は、必ずエア供給を停止してホースから空圧を抜き、エアーツールをエア供給元 (エアホースなど) から取外してください。
- 製品寿命を長持ちさせるために使用後注油が必要です。エアモーターとベアリングは圧縮空気を使ってエアーツールを始動させます。
- 圧縮空気中にある水分はモーターに錆を生じさせます。モーターは毎日注油してください。保管する前にエアーツールに注油し、数秒作動させてください。
- 手入れを行わずに放置すると、内部に残留した水分が原因で錆が生じます。